

- Roy. Met. Soc., **89**, 122-130.
- Wang, W.-C and G.-Y. Shi, 1988 : Total band absorptance and k-distribution function for atmospheric gases, *J. Quant. Spectrosc. Radiat. Transfer.*, **39**, 387-397.
- Wetherald, R. T. and S. Manabe, 1988 : Cloud feedback processes in a general circulation model, *J. Atmos. Sci.*, **45**, 1397-1415.
- World Meteorological Organization, The inter-comparison of radiation codes in climate models (ICRCCM), Rep. WCP 93, 37 pp., Geneva, 1984.
- Wu M. C., 1980 : The exchange of infrared radiative energy in the troposphere, *J. Geophys. Res.*, **85**, 4084-4090.
- Yamamoto G., 1952 : On a radiation chart, *Sci. Rept. Tohoku Univ., Ser. 5 Geophys.*, **6**, 19-31.
- , M. Aida, and S. Yamamoto, 1972 : Improved Curtis-Godson approximation in a non-homogeneous atmosphere, *J. Atmos. Sci.*, **29**, 1150-1155.

日本気象学会1994年度秋季大会の報告

日本気象学会1994年度秋季大会は、九州大学を会場として1994年10月18～20日に行われ、参加者数は498名であった。

2日目午後には、松野理事長の挨拶に続き、山本正野論文賞・堀内基金奨励賞の授与、奨励金の贈呈が行われ、山本正野論文賞・堀内基金奨励賞の記念講演が行われた。引き続き、大会シンポジウム「熱帯・東アジア域の豪雨」が行われた。ここでは、気象学会の大会としては初めての試みとして、話題提供者として海外の研究者3名が招待された。話題提供は英語と日本語との混在のため、シンポジウム要旨集については英文と和文の両方が用意された。

一般講演の発表申込件数は311件で、ほぼ前回並で

あった。その内訳は第1種講演が243、第2種講演が46、ポスターが22件であった。第2種講演として申し込まれた講演のうち、予稿が第2種の要件を満たさない等の理由でプログラム編成時に第1種に変更されたものが14件（前回は12件）あった。スペシャル・セッションは、「西日本の気象災害」をテーマとして第1日目前中に16件の発表があった。

なお会期中およびその前後には、個別のテーマによる研究会が計3件開かれた。

今大会事務局として大会準備・運営にご尽力頂いた福岡管区気象台と九州大学の皆様に深く感謝の意を表します。

1994年11月 講演企画委員会